

【 別 表 】

審査項目及び評価内容

審査項目		評価内容	配点	
1	業務実施方針	業務の目的及び内容を十分理解した企画提案となっているか。	5	
2	業務実施計画	業務フローが具体的に明確に示されているか。	5	
		実施スケジュールについて、万が一想定外の事由が発生した場合においても、本稼働が遅延することがないよう、バッファ等が確保されているか。	5	
3	仕様書に対する対応方針・考え方	機能要件	機能要件一覧で示した要件は十分に備わっているか。	5
		構築環境	システムをガバメントクラウド等で運用するにあたって、必要な構築が行えるか。	5
		システム連携	統合宛名システムとの連携にあたって、確実な連携を実現するための必要な対応がとられているか。	5
		データ移行	既存システムからのデータ移行にあたって、整合性確保及び確実な移行のための必要な対応がとられているか。	5
		各種テスト	各種テストの実施計画の時期及び内容は必要十分か。	5
		研修	システム利用者等に対する研修の時期及び内容は必要十分か。	5
		業務実施体制	本業務を遂行可能な人員体制(人数やサポート体制など)が確保されているか。 指揮命令系統や責任者と各作業担当者の役割分担が示されているか。	5
4	専門性・業務遂行力	類似・関連業務の経験が豊富で、本業務を確実かつ効果的に遂行する実績を有しているか。	10	
5	拠点・設備	県内への事務所設置または、緊急時にフォローできる体制(遠隔操作や電話等によるオペレーション等)が構築されているか。	5	
6	情報保護	構築するシステムは、国及び当該県が別途定めるセキュリティガイドラインを遵守するほか、個人情報保護並びに情報漏洩への対策について格段の配慮がなされているか。	5	
		業務上知り得た秘密や個人情報に関する取り扱いについて、個人情報保護法や個人情報取扱特記事項に基づき、漏えい、滅失及び毀損の防止その他個人情報の保護のための方策が図られているか。	5	
7	その他	独自提案など、より効果的な事業実施が見込まれる提案となっているか。	5	
8	経済性	構築費用見積	設計・開発費用、構築費用など業務内容を踏まえた適切な経費が計上されているか。	10
		ランニングコスト	構築後のシステム利用料及び保守費用等ランニングコストの積算は適切か、	5
		構築環境	システムを構築する環境について、コスト低減のための方策が図られているか。	5
合 計			100	